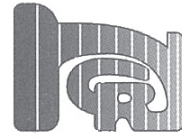


フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.johas.go.jp/>



地域に求められる看護の提供のために

看護部長 今田 広子

このたび、平成29年4月1日付けで着任いたしました。中部ろうさい病院には平成24年から2年間看護副部長として勤務しておりました。3年ぶりの名古屋の地で、懐かしい病院建物や職員の姿を見て、うれしく思うのと同時に、この地で如何に地域貢献できるかを考えますと、身が引き締まる思いです。

中部ろうさい病院は62周年を迎える歴史ある病院です。港区の中核病院として高度急性期医療、勤労者医療の役割を担っています。名古屋市港区は他の区に比べると高齢化が進んでおり、高齢者世帯や高齢独居の住民が増えていく地域と認識しています。

さて、平成29年度の看護部については、看護部の理念である「誠実を基本理念とし、「生命・生活」の質向上に貢献できる看護を目指します」を基本とし、「生活者の目線で患者を捉え、その人らしさを支える看護を実践する」

を目標に掲げました。看護部は院内組織の中で最も人数が多く、約550名の看護職がおります。看護職一人ひとりが病院理念、看護部理念、目標を意識しつつ行動できるよう浸透させていくことが重要だと考えています。

当院の大切な取組の一つに地域医療への貢献が挙げられます。看護職にとっても変化する地域社会を理解することが必要であり、そのためには人材の育成が欠かせません。当院では、12分野16名の認定看護師が質の高い看護を提供する為に、看護管理者と共にリーダーシップを発揮しています。地域の看護職から当院認定看護師への相談依頼を始めて3年を迎えますが、少しずつ実施件数も増え、地域の看護職の方々と顔の見える連携ができてきているように感じています。

今後も引き続き、地域の皆さんに求められている医療、看護が提供できるよう日々努力していく所存です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

今月号のお知らせ

- ①地域に求められる看護の提供のために
.....看護部長 今田 広子
- ②就任挨拶と脳出血に対する神経内視鏡手術について、
.....脳神経外科部長 松平 哲史
- ③納得、安心の最新の泌尿器科診療
.....泌尿器科部長 高木康治
- ④最新の画像撮影システムを導入しました
- ⑤出張女性総合外来!!
(ハッピーママフェスタ in ナゴヤドームに参加して)
.....神経内科・女性診療科部長 上條 美樹子
- ⑥院内行事のご紹介
当院の理念・当院の基本方針
編集後記



医師



就任挨拶と脳出血に対する 神経内視鏡手術について

脳神経外科部長 松平 哲史

この度、平成29年4月より前任の海南病院から当院脳神経外科部長として着任いたしました松平 哲史と申します。これから脳神経外科に関するすべての診療にかかわってまいります。

我が国では超高齢社会に突入し、高齢者特有の疾患に加え転倒や交通事故による頭部外傷も増加傾向にあり、高齢者の救急搬送件数も増えていく一方です。その一つが脳卒中による搬送です。現在死因第4位の疾患であり、後遺症は患者さんのADL(食事・着替え・入浴などの日常生活動作)に大きく影響する為、その原因となる生活習慣病や不整脈を予防することがますます重要になるかと思われます。

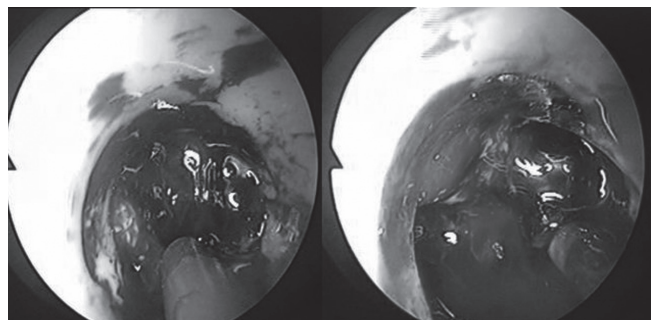
さて、昨今脳神経外科手術といえば顕微鏡手術の他、カテーテルによる手術(血管内手術)もメジャーとなりました。その中に新しく内視鏡による手術が近年増加傾向にあります。内視鏡といえば胃や大腸、肺などに使用されるイメージですが、脳神経外科領域で例をあげますと脳卒中の一つである脳出血に対して皮膚を大きく切開する開頭手術を行わずに血種を摘出する手術があります(内視鏡的血種除去術)。局所麻酔下にて数cmの皮膚

切開で手術ができるため高齢者にも適応となり、手術後早期にベッドから離れ、回復期リハビリテーションにスムーズに移行できるようになります。

今年は最新の4K画像システム内視鏡も導入し、脳神経外科医も3名体制となり、スムーズな脳神経外科診療や手術を行える体制が整いつつあります。めまいや強い頭痛、手足のしびれなどでお困りの方がいらっしゃいましたら、一度当院の脳神経外科もしくは神経内科を受診してください。



4K内視鏡システム



内視鏡的血種除去術

医師



納得、安心の最新の泌尿器科診療

泌尿器科部長 高木 康治

40年間この地域の泌尿器科医療の中心を担ってまいりました小谷俊一泌尿器科部長が定年退職され、その後任として4月1日付けで名鉄病院から赴任して参りました。よろしくお願い致します。

私は名古屋市中村区の出身で、前任地の西区にある名鉄病院では腹腔鏡下小切開手術（※1）を導入し、低侵襲（患者さんの体の負担が小さく回復も早い）手術に力を入れ診療を行ってきました。今までの中部ろうさい病院の泌尿器科の特色としては、前立腺がん、脊髄損傷に伴う神経因性膀胱、男性性機能障害の症例が多い事でしたが、4月からは名古屋大学泌尿器科の協力のもと泌尿器科悪性腫瘍に対して低侵襲手術である腹腔鏡手術を開始しています。

また、最新のホルミウムヤグレーザーシステム（※2）を導入し、尿路結石症に対して尿管鏡を用いた内視鏡手術も開始しています。以前から導入済みの体外衝撃波結石破碎装置と組み合わせることで、尿路結石症に対してより効果的な低侵襲治療を行うことが可能になりました。

当科にはすでに泌尿器科専門医（木村医師、坂元医師）が2名在籍しており、彼らとともに

に今後は泌尿器科悪性腫瘍、尿路結石症に対する患者さんの体に優しい低侵襲治療に力を入れていきたいと考えております。

泌尿器科悪性腫瘍（がん）、尿路結石症に特徴的な症状としては、血尿が最初の症状として出現することが多く、また、わき腹のあたりの強い痛みを伴う場合もあります。尿に血液が混じったり、健康診断で尿潜血を指摘されたりした場合は早めの泌尿器科受診をお勧めします。

当院の理念である「納得、安心、そして未来へ」を引用させていただきますと、患者さんに納得いただいた上で安心して検査、治療を受けていただき、そして生活の質（QOL）を向上させることで患者さんとご家族の大切な未来に少しでも貢献できますよう日々の診療に励んでゆきたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

※1…臓器の摘出に必要な最低限の大きさの単一切開創を置き、創縁から挿入した内視鏡観察下にこの単一創から行う低侵襲手術

※2…尿路結石症、前立腺肥大症の内視鏡手術において、特殊なレーザーで切開から止血、結石破碎を行える低侵襲かつ安全・効果的な最新の手術機器

技師

最新の画像撮影システムを導入しました

中央放射線部長 安藤 嘉宏

昨今、「放射線被ばく」に関する問題がクローズアップされています。放射線科でも「被ばくの最適化」、つまり最小限の被ばく線量で十分な医療情報を手に入れよう、という原則のもと、常に被ばく低減を意識しながら撮影業務を行っています。

去年の12月から2カ月にわたり新しい撮影システム導入のため一般撮影室3室の工事を順次行いました。皆様にはご迷惑をおかけしましたが、これによってこれまで使ってきた古いCRシステムから富士フィルム製の最新のFPD(フラットパネルディテクター)という撮影装置に置き換わり、患者さんにとっても様々なメリットが生まれました。

FPDとは、X線を直接デジタルデータとして取得できる装置です。これまでのCRシステムではいったんフィルム状のプレートにX線を影を写し、それをデジタルデータとして取り出していたので読取作業が必要でしたが、FPD

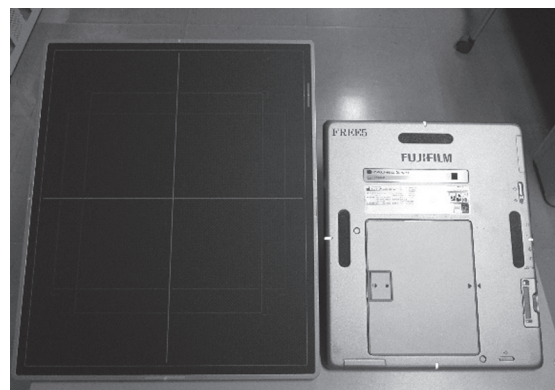
では撮影から瞬時に画像データが得られるようになりました。例えるならフィルムカメラからデジタルカメラに移行したと考えるとわかりやすいと思います。

FPDに更新したことで、画質が非常にきれいになり、また読取作業が不要な分、患者さんの待ち時間の短縮が出来ました。そして一番のメリットは、撮影部位にもよりますが、必要なX線量が今までの装置に比べおよそ1/2～1/3程度まで低減できたことです。これらにより一般撮影部門では以前よりも待ち時間の短縮や高画質な画像の提供、そしてなによりも被ばくの低減という点で、より良い医療を患者さんに提供できるようになりました。

なお、勤労者医療を掲げる当院では、MRIの予約検査を火曜日、木曜日の17時以降と土曜日、日曜日にも実施しております、平日や病院の診療時間内に来院が難しい患者さんは是非お問合せください。



新しくなった撮影室



最新のFPD

イベント

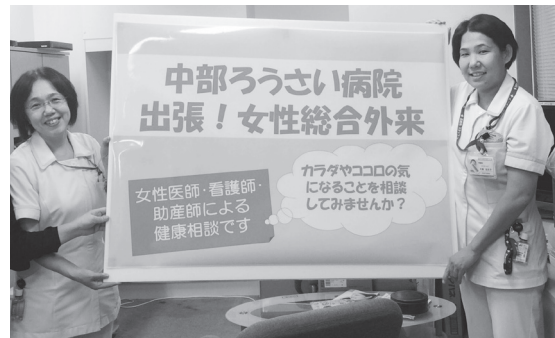
出張女性総合外来!! (ハッピーママフェスタ in ナゴヤドームに参加して)

神経内科・女性診療科部長 上條 美樹子

みなさんは、当院に女性総合外来があるのをご存知ですか?総合診療科として女性の健康相談に応じるのが女性総合外来の役目です。平成14年に開設し、15年間地域の皆さんの相談をお受けしています。

近年、女性の社会進出により働く女性が増加する中で、子育て世代の女性はなにかと忙しく健康不安や育児相談があってもなかなか受診できません。そこで病院側からみなさんに近づくことはできないだろうか?そんな思いから、今回女性総合外来は2月24~26日の3日間、新聞社とテレビ局が主催する地域イベント「ハッピーママフェスタ」に「中部ろうさい病院出張女性総合外来」として参加したのです。

ハッピーママフェスタは中日ドラゴンズの本拠地ナゴヤドームを会場に3日間で延べ10万人が訪れる大きなイベントです。ろうさい病院の特設ブースには医師、看護師、助産師が常駐し、子育てや健康の相談に応じるだけでなく、乳がん自己検診の指導やお子さんの成長相談を行いました。例えば小さな子どもは普段体重を測る機会はあるのに、身長はなかなか測れません。そこで小児科外来から乳



児用身長計を拝借し、その子の現状と成長曲線との比較、各自に適したアドバイスをを行いました。また断乳時期の相談やてんかんなどの持病があつての拳児希望相談などプレママ、新米ママさんの相談も多数ありました。お子さん向けに、看護師さんやお医者さんの白衣を着て写真を撮りましょうという企画は大好評。子ども達はすっかりなりきってハイポーズ!本物の聴診器で自分の心音を聞いてもらうと目を輝かせていたのが印象的でした。



最終日はイケメンDAIGOさんの華やかなショーで会場は大興奮!そんな中、延べ800人が中部ろうさい病院出張女性総合外来を訪れて下さいました。多くのみなさんから気になってたことが気軽に相談できてよかったと言っていたら、参加したスタッフも報われた思いです。この経験を糧にさらに女性総合外来を充実させていきたいと思ひます。



院内行事のご紹介

★「看護週間」イベントを開催しました★

5月7日から5月13日は看護週間で、今年も「看護の心をみんなの心に」をテーマに、看護部のCS(患者サポート)スタッフ委員会が中心となっていくつかの行事を開催しました。

まず写真展ですが、各部署の特徴的な場面を撮影して展示しました。右図のように写真のサイズと説明パネルを揃えたところ「見やすくなったよ」など嬉しいご感想をいただきました。

5月11日には正面玄関ホールで院内コンサートを開催しました。看護師・医師・理学療法士・臨床検査技師と色々な職種で構成したバンドで、クラシックから懐かしの歌謡曲まで1時間半にわたり演奏したほか、誕生日サプライズやマジックショーなども催し大いに盛り上がりました。

最終日の救急講座では、救急外来・ICUスタッフのほか患者さんのご家族等にも参加いただき一次救命のシミュレーションを行いました。

患者さんやボランティアの皆さんのおかげで、今年も無事に看護週間行事を催すことができました。患者さんへのよりよいケアができるよう今後も取り組んでいきたいと思ひます。



各部署の写真展



コンサート風景

★今後の患者さん向け行事★

6～9月にかけて、現時点では以下のとおり予定しています。

ご興味がありましたら職員にお声かけください。

- 6月20日(火) いきいき糖尿病バイキング教室→今年で6回目、糖尿病について勉強し、料理の実食、ストレッチ体操など行います。
- 7月19日(水) 社会生活講座→障害をお持ちの方をお招きし、今回は障害者スポーツについて講演いただきます。
- 7月29日(土) 第13回市民健康セミナー→今回は「心臓病と運動」をテーマに心臓病とライフスタイルに関する講演を行います。
- 8月2日(水) 一日看護体験研修→高校生に実際の看護の場を体験してもらい、看護師の仕事を理解してもらいます。
- 8月24日(木) がん患者さんとの患者会→「がんとりハビリ」をテーマに患者さんやご家族が集まり情報交換・交流を行います。
- 毎月第3木曜日 絵手紙教室(7階デイルーム)
- 毎月第4月曜日 朗読会(5階デイルーム)



当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

～ 編集後記 ～

年度が改まり第1号のフィリアレターですが、医療の世界は本当に日進月歩で進歩しています。

今回ご紹介したように、患者さんの負担が少ない最新の手術方法を導入したり、最新の手術機器、検査機器を購入することで、最先端の医療を提供し、患者さんに選ばれる病院を目指してまいります。

患者さんからのご意見などございましたら、お寄せ下さい。(J・K)